

平成 25 年 5 月 28 日 (火)

午後 7 時 30 分から 吉身会館にて

守山まるごと活性化プラン検討委員会 (第 1 回全体会議)

議 事

1. あいさつ
2. 委嘱状交付
(守山まるごと活性化プラン検討委員会 (全体会議) 委員の委嘱)
3. 委員長および副委員長の選出
4. 守山まるごと活性化プランの検討方針について (協議事項)
5. その他 (事務連絡など)

守山まるごと活性化プラン検討委員会 全体会議 委員名簿

(敬称略)

1	大崎忠男	商工会議所 会頭
2	河野伊一郎	岡山大学 名誉教授
3	小西由美子	公募市民(吉身4丁目在住)
4	杉田英子	JAおうみ富士 女性部
5	高野隆男	河西学区長(川中自治会)
6	高谷好一	京都大学 名誉教授
7	竹村 昇	公募市民(伊勢町在住)
8	谷口喜久	玉津学区長(赤野井自治会)
9	千代雅人	守山学区長(千代自治会)
10	中明子	NPO法人 びわこ豊穰の郷
11	西田裕美	青年会議所
12	西村梯子	守山の女性たちによる女性の交流会 発起人(スペースウイン)
13	濱崎 一志	滋賀県立大学 地域文化学科教授
14	日下山靖幸	公募市民(小島町在住)
15	藤井絢子	環境省中央環境審議会委員(NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク代表)
16	舟橋和夫	龍谷大学 コミュニティマネジメント学科教授
17	布野修司	滋賀県立大学 副学長
18	本城眞佐一	中洲学区長(立田自治会)
19	三品長一郎	小津学区長(三宅自治会)
20	三宅和夫	吉身学区長(グラントマン守山自治会)
21	村上瞳	企業経営者
22	山岡龍二	速野学区長(ネオ・ハラガイター守山)
23	葭本勝利	企業経営者

守山まるごと活性化プランの検討方針(案)

1 プラン策定の目的

「住みやすさ日本一のまち守山」の実現を目指し、各地域の地域資源を活用した市域全体の活性化に取り組みます。

この取り組みは、「地域コミュニティの活力の維持」、「将来予測される人口減少や高齢化の先延ばし」、「魅力あるまちづくり」のため、更には住民の地域や本市への『愛着と誇り』の醸成をめざすものです。

平成 25 年度は、その前提となるプランを策定します。

2 プランの位置づけ

- (1) 今回策定するプランは、活性化に向けた具体の取り組みをとりまとめるものです。
- (2) 地域と行政が連携しプランを策定するとともに、その実現についても地域と行政が連携して行います。
- (3) プランに位置づけた事業は、市財政改革プログラムや総合計画実施計画等との整合を図る中、5～10 年間で順次事業化を図ります。

3 プラン検討の視点

目的を踏まえ、以下の3点の考え方にに基づき、プランを取りまとめることとします。

- (1) 歴史資源や自然資源等を活用した活性化を図ります。
- (2) 魅力的な地域の創造による愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。
- (3) 人とひとの絆の強化、地域コミュニティの活性化を目指します。

- ・ 様々な地域資源（歴史資源や自然資源等）を活かした地域の活性化策を「ハード面」、「ソフト面」、「担い手」等の側面から検討、活性化プランとしてとりまとめます。
- ・ 地域資源を抽出し、当該地域資源を一層輝かせる取り組みを整理するとともに、地域資源を線や面でつなげる取り組み（例えば、自転車道や花であふれる回廊、水辺の回廊など）を整理し、地域全体が輝くプランとして取りまとめます。
- ・ 既存資源・施設の活用により市域全体、各地域の活性化を図るものであり、新たな施設設置（いわゆるハコモノ整備）は原則として行わないものとします。
- ・ 老若男女にとって一層誇りとなる活性化を推進することは、もちろんのこと、将来の地域のため、将来を担う子ども達のために必要な活性化策を盛り込むこととします。

【 地域資源の例 】 ※ 詳細は、別添の「守山市内の地域資源の例について（資料）」等を参考にしてください。

区 分	資 源
歴 史 資 源	伊勢・下之郷遺跡、諏訪屋敷、下新川神社（すし切り祭り） 金森御坊（蓮如ゆかり）、観音寺（源頼朝ゆかりの藤の木）、 少林寺（一休禅師ゆかり）、益須寺 など
自 然 資 源	近江妙蓮、芦刈園、大川周辺、野洲川河川敷の活用、ホタルの舞う河川、 琵琶湖、赤野井湾、木浜内湖 など
人 的 資 源	古高俊太郎、卑弥呼、蓮如、一休和尚、岡田逸治郎 など

4 検討の体制

検討体制として「全体会議」、「学区別会議」を設置します。

なお、学区別会議には事務局長として次長級職員を配置。地区会館館長も参加。更により具体的な検討に必要な支援については、市の担当職員も検討に参加し支援します。

○ 学区別会議 事務局の体制 …… 別添のとおり

検討体制

名称	構成	役割・手法
全体会議	<ul style="list-style-type: none"> 各学区長および各種団体代表、学識経験者、公募市民等 委員数は25名程度 	<ul style="list-style-type: none"> プラン検討方針の整理 学区毎の活性化策を整理、調整 総合的なプランの取りまとめ



学区別会議 (7学区)	<ul style="list-style-type: none"> 各学区の自治会長およびまちづくり委員等、学区が指名する者 委員数は学区毎の自治会数等により変動。学区毎に概ね20~30名程度を想定 学区毎に事務局長として担当次長を配置。地区会館館長も参加 より具体的な検討に必要な支援は、市担当職員も検討に参加 	<ul style="list-style-type: none"> (A) 課題抽出 (B) 地域資源の掘り起こし (C) ①地域資源を一層輝かせる取組 (ハード、ソフト、担い手等) (D) ②地域資源を線や面でつなげる取組 (ハード、ソフト、担い手等) <p>について具体策を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ毎のワークショップ形式での議論を基本とし、会議を開催(まち歩きを開催することや、会議の進め方等は学区によって工夫) 開催回数は5回程度とし、議論の熟度に応じて拡大も実施 地域で取り組もうとする事(自助、共助)の取組についても並行して議論。
----------------	---	--

※ 事務局 政策調整部みらい政策課 (支援: 環境生活部協働のまちづくり課)

5 スケジュール(案)

- 5月28日 全体会議での議論開始
- 5月末 学区別会議委員の決定(学区、自治会と相談させていただきます)
- 6月 学区別会議開始

守山まるごと活性化プラン検討委員会(学区別会議・全学区合同会議)

内容(予定)

『守山まるごと活性化プラン検討の取り組みについて』

➤ 講演 (高谷先生、濱崎先生)

守山の素晴らしい地域資源と地域資源を活かすこと等について講演頂くものです。

➤ パネルディスカッション (コーディネーター: 布野先生 パネリスト: 高谷先生、濱崎先生、市長)

➤ まとめ (布野先生)

➤ 事務局より

検討方針およびスケジュール等を説明する

日時: 6月15日(土) 午前10時から

場所: 守山市民ホール 小ホール

参加対象: 守山まるごと活性化プラン検討委員会(学区別会議)委員 ほか

- ・ 12月 プラン素案完成
- ・ 1月 パブリックコメントの実施（学区毎の説明会実施）。フォーラムの開催
- ・ 3月 「守山まるごと活性化プラン」完成

なお、スケジュールについては現時点の案であり、検討の状況によっては、期間の延長を行うこともあります。

6 添付資料 検討の枠組みとスケジュール(案)

守山まるごと活性化プラン検討に伴う 各学区ごとの事務局の体制

○印は、事務局長

(敬称略)

H 25.5.28現在

学区	氏名	所属	役職
守山学区	○ 竹村 隆夫	健康福祉部	次長
	小島 秀晃	商工観光課	課長
	高橋 和也	守山会館	館長
吉身学区	○ 西井 秀隆	健康福祉部	次長
	西木 弘	健康福祉政策課	課長
	柿本 勝幸	吉身会館	館長
小津学区	○ 川上 肇	総務部	次長
	中島 勉	道路河川課	課長
	中島 史郎	小津会館	館長
玉津学区	○ 松岡 幹雄	環境生活部	次長
	鈴木 文男	農業委員会事務局	事務局長(次長)
	松山 正	玉津会館	館長
河西学区	○ 北野 正広	教育委員会	教育部次長
	川嶋 利明	すこやか生活課	課長
	中野 俊彦	河西会館	館長
速野学区	○ 高谷 実	都市経済部	次長
	今井 剛	財政課	課長
	西藤 安彦	速野会館	館長
中洲学区	○ 井入 秀一	総務部	次長
	木村 芳次	健康福祉部	次長
	川上 かよ子	中洲会館	館長

事務局： 未来政策課 ※ 各学区ごとに担当を配置
 (Tel 077-582-1162 、 FAX 077-582-0539)
 Eメール miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp

連携： 協働のまちづくり課

○ 検討の進め方とスケジュール



